

コード No. 10347F

**Anti-Human
KDR (23B31) Mouse IgG MoAb (Frozen)**

容量 : 100 μ g (0.1mg/mL, 1.0 mL)

- はじめに : KDR(2 型受容体)は Flk-1 とよばれ、血管新生およびリンパ管新生の主要な促進因子である VEGF の受容体の一つです。この受容体としては他に Flt-1 (1 型受容体)が知られており、特にヒト血管内皮細胞のシグナル伝達において重要な機能を担っていると考えられています。Flt-1 と KDR/Flk-1 は VEGF と結合後、協調して血管内皮細胞を刺激していると考えられています。
本モノクローナル抗体は、ウエスタン ブロットティング、免疫沈降試験により、KDR を認識し、KDR 発現細胞に対する FACS 解析も可能です。また、本抗体の添加によって、リガンド結合に依存的な KDR のリン酸化が誘導されないことも確認されており、中和抗体として使用していただけます。
- 免疫抗原 : ヒト KDR の細胞外領域のリコンビナントタンパク質
- 起源 : マウス×マウス ハイブリドーマ(培養上清)
(X63-Ag8.653×BALB/c マウス脾臓細胞)
- クローン名 : 23B31 サブクラス : IgG₁
- 精製方法 : Protein A による特異精製
- 包装形態 : PBS に溶解したものを凍結 (BSA および NaN₃ 不含、無菌分注)
- 保存方法及び安定性 : -20℃保存 2 年間安定
- 適用 : 中和活性あり (KDR 発現細胞株において、20 ng/mL のリガンド結合に依存的な KDR のリン酸化を指標とした時、10 μ g/mL の抗体添加により中和活性確認)
: ウエスタン ブロットティング 1~5 μ g/mL にて使用可能
: 免疫沈降法 3~5 μ g/mL にて使用可能
: FACS 解析 0.1~0.5 μ g (1×10⁵ Cells あたり)にて使用可能
- 特異性 : HUVEC を用いたウエスタンブロットティング法にて特異性確認